

洋書輸入協会会報

VOL. 20

NO. 7

(通巻 231 号) 昭和 61 年 7 月

理事会報告

5 月 26 日(月)

(一) 定時総会

当日開催される定時総会の運営について協議した。

(二) 通産省からの協力要請

通産省から 5 月 9 日付けで「円高効果の小売価格への反映について」協力要請が協会あてによせられたので、その周知普及について協議し、当日の定時総会において会員へ要請することとなった。

(三) 懇親旅行

6 月 6 日(金)、7 日(土)の懇親旅行参加者について文化厚生委員会から中間報告があった。

(四) その他。

6 月 10 日(火)

(一) 定時総会報告

全会員へ配布する定時総会報告の事務局長案を検討し、決定した。

(二) 委員会の編成

新年度の委員会の編成について協議した結果、(1)理事が担当する委員長は従来通り留任とし、(2)会員に対してはアンケートによって希望する委員会を問合せることとなり、アンケートの内容について協議した。

(三) ダイレクトリイ

1986年版ダイレクトリイの経費についてダイレクトリイ委員会からワードプロセッサ利用の効果がでてきて、製作費が節約できたことが報告された。

(四) 懇親旅行

参加40社、47名、事務局を加えて49名の参加者があり、大体予算通りであったことが文化厚生委員会から報告された。

(五) その他。

理事会報告……………	1	洋書輸入協会史(10)……………	4	おしらせ……………	8
文化厚生委員会だより		よこめし・たてめし(2)……………	6	海外ニュース……………	8
洋書輸入協会懇親旅行……………	2	文化厚生委員会だより		書籍展示会のおしらせ……………	9
司さんの思い出……………	3	シロギス釣り……………	7	来日外人名簿……………	9
書物にかかわる歌(その一)……………	3	72会・第42回ゴルフコンペ……………	7	広 告……………	10
総代理店ご案内……………	3	富士の麓でナイスショット……………	8		

洋書輸入協会懇親旅行 一三河湾 西浦温泉—

61年度の協会の旅行は6月6日(金)～7日(土)に三河湾の西浦温泉への一泊旅行でした。東京から44名、関西から5名、16時に新幹線豊橋駅で落ち合い、貸切りバスで西浦温泉に向いました。途中寄るところもなく、今年入社したばかりの新人ガイドさんの稚拙ながらも可愛い案内で、約1時間後西浦温泉銀波荘に到着、すぐ旅館の前で、いっものながらメクレンブルグの鈴木さんをお願いして記念撮影。

浴衣に着がえて温泉で汗を流し、6時から広間に集っての宴会、小林理事長代理の挨拶、丹羽関西支部長の乾杯の後、しばらくは数多く出された魚介料理を賞味しながら歓談、やがて芸者衆の唄と踊りの後、彼女等に引っぱり出された参加者数人の珍芸に、一同爆笑するやら苦笑するやらで時間の経つのを忘れ、8時過ぎ明治のお生れとは思えない東光堂石内会長の歌(明治・大正の歌ではありません最新の流行歌です)を最後に、石内氏の手締めで宴会も無事終り、その後各自カラオケに、マージャンにと一夜を過しました。

翌日ゴルフ組は早朝より吉良カントリーへ出発、残った36名は観光バスで西浦港へ、ここで遊覧船に乗り、猿

島、兎島と猿や兎に餌を与えて一とき童心にかえり、東幡豆より再びバスにて三ヶ根山の展望台へ、ここにはA級戦犯で処刑された人々の慰霊碑や、フィリッピンで戦死した人々を祀る観音像があるとのガイドさんの説明、残念ながら雨と時間の関係でそこに行くことが出来ず、天気がよければ渥美半島、知多半島さらに遠く鳥羽方面まで見渡せるという展望台に登ってみたが、雲が厚くたれこめ全く視界がきかず残念でした。

昼食は形原温泉にある山麓園でジンギスカン焼でお腹を一杯にし、再びバスで三大稲荷の一つ豊川稲荷へ、ここのお稲荷さんには赤い鳥居が一つもなく、街のお稲荷さんの小さな祠の赤い鳥居を見つけている我々にとっては、一寸奇異な感じがしました。

お稲荷さんの参拝も終り再び豊橋駅でゴルフ組と合流、18時半東京駅に無事戻りました。

昨年は東北地方であったため、関西の方の参加が難しかったかと思いますが、今年は丁度中間地域なので、関西の方がたも多数参加頂けるものと思っていましたが、意外にご参加が少く、一寸淋しく感じました。

(MT 記)



司さんの思い出

服部正喬

司さんは単に我々の業界だけではなく実業界一般又文化界にも互る巨星であった。九十二歳の高齢であったからご本人は過去を回想して誠に満足しておられたことであろう。惜別の情深いと共にその充実した人生を讃えるのは氏を知る人皆の感懐であろう。昭和十四年海外出版物輸入同業会が発足活動した頃の理事長丸善さんの社長は荒川実さん。会創立時の丸善さんの代表者は重役の山崎民雄さんで石川君が万端を仕切っていた。山崎さんは理事会にいつも出席され私達と至極懇意になっていたが、荒川さんは顔を見せたことはなかった。司さんも協会の総会にも理事会にも出席されたことはなかったように思う。一度司さんは理事一同を柳橋か新橋かの料亭に招待され豪勢な宴会をしてくださった。司さんは歌をうたわれた。その文句を私は渡辺さんから勧められるままに色紙に書いて渡辺さんに渡したように思っている。この文句は司さんの人生行路の道程を示めしたものと思った。

戦後輸入開始早々の頃、通産省等の肝煎りではじまった前金払いの洋書輸入のとき、むつかしい問題の解決に丸善さん顧問の小山長矩さん（過日死去）が、持別の骨折りで解決したが、これは多分司さんの内部からの働きがあったためと思う。司さんが勲一等受章のとき、私は桜井君に電話して協会として、お祝いをしようと提案したところ、同君から今回の受勲は松方コレクションの輸入等の功績の賜で洋書輸入の功績が認められた結果ではないとの事で見合わずことになった。洋書輸入の我国の文化発展への貢献は計り知れない莫大なものがあることを一般の人々に知って貰いたい事は私の宿願であったのだが、桜井君のこの話で少々がっかりした。

私は司さんのお骨折りで受勲したと思っているが、そのお骨折りに心ばかりの品をお贈りしたのに対し簡単なお礼状の中に鄭重な真情のこもった言葉があって成る程なあと考えた。

司さんの先見の明、物に拘わらず所信を断行する実行力その他数々の優れた美德力量については皆々の広く承認するところ、私としては、九十二年を本当によく生き抜いたこの一大先人の充実したご生涯に深甚な敬意を表し、衷心よりご冥福を祈ります。（合掌）

書物にかかわる歌（その一）

をりをりは脳解剖書読むことありゆえ知らに心つつましくなり
斎藤 茂吉

処女歌集「赤光」所収。作者はこの頃、東京府巢鴨病院に新参の医員として勤務していた。後年「作歌四十年」のなかで『この歌は、時には何とも理由がなしに心謙虚となる境界を味むつもりであったのである。自分の専門であるから、脳解剖書を読むことなどは当然の行為であるが、歌となって見れば一種の趣があった。』と自解している。

ここでは「何とも理由がなしに」とかるく韜晦しているが、この場合「脳解剖書」であることが言うまでもなく一首のポイントである。ここを仮に、物理学書、経済学書、更には他の部位の医学書などに置き換えてみれば、それは明らかだろう。

限りなく神秘でありながら、脆く損じやすいものに対する思いが終止形を取らない結句に揺曳している。同時期に〈屈まりて脳^かの切片を染めながら通草^{おほひ}のはなをおもふなりけり〉があり、第二歌集「あらたま」には〈垢づきし瘋癲^{ふうてん}字に面^{おも}よせてしましく読めば夜ぞふけにける〉が収められている。 A. A.

総代理店ご案内

(株) 紀伊國屋書店 ☎(03)354-0131

Cine-Books -US-

The Motion Picture Guide. 12 vols

Compiled by Jay Robert Nash & Stanley Ralph Ross 1985-1986set ca ¥150,000

MPG 1985 Annual. 1986ca ¥26,000

John Wright -UK-

Sports Injuries: The Unthwarted Epidemic. 2nd ed.

Ed. by Paul F. Vinger & Earl F. Hoerner 1986: 04¥13,000

丸 善 (株)

☎(03)272-7211

Bailliere Tindall (GBR).....All periodicals

洋書輸入協会史 (10)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

11.7 民主外交協会発 UNESCO 宛の請願書

昭和22年4月に、森戸辰男氏が会長となって民主外交協会が組織されていた。森戸氏が丸善の永年の得意先であった関係で、洋書輸入再開促進に援助をお願いしたところ、UNESCOの力を借りてGHQを動かしてみようということになったのである。

そこで同協会内に海外出版物輸入促進委員会が設けられることとなり、10月20日その委員会の会議に丸善の石川氏が出席、打ち合わせの上、更に24日に海外出版物輸入同業会の理事全員が同委員会に出席した。

その結果、委員長杉森孝次郎博士自ら“Petition for Importation for Oversea's Publication”と題した英文請願書を起草し、委員会名と同博士の署名で10月27日、その時ユネスコ大会が開会されていたメキシコとパリの本部の双方に、Dr. Julian Huxley, Director-General, UNESCO 宛で発信された。

(注1) 以上は、丸善百年史下巻1,172～1,173ページと、洋書輸入協会会報昭和45年3月号石川実氏「洋書こぼれ話」より引用した。

(注2) 森戸辰男氏。1888(明治21)～1984、1947(昭和22年) 当時は衆議院議員、47～48に片山・芦田内閣で文部大臣。'50～'63の間広島大学学長。

(注3) 杉森孝次郎氏。1881～1968、社会学・政治学者、国際的文化人として海外との交流に功績があった。早大教授を'44に退職、当時は駒沢大学教授。

メキシコとパリの双方へ発信された理由は、杉森博士が、メキシコ大会に間に合わないことを懸念され、GHQ・CIEのChief Mr. Nugent(ニュージェント中佐・部長)に至急メキシコへ送達して貰うよう依頼される一方で、そのコピーに添状をつけて、パリ本部へ送られたためである。

このユネスコ宛英文請願書の全文は残されている。またこの請願書のコピーをつけて改めてGHQへも陳情書が出され、その経緯を記して日本政府へも懇請状が提出されるという、念の入った処置をして頂いている。

この日本政府宛の懇請状の全文も残されていて、当時

の占領下における情勢、洋書に対する知識人の考え方、戦後混乱期におけるいささか奇妙な言葉遣いなどが如実に表現されているので、長文の中から主文のみを下記に掲載して記録にとどめることとする。

記

海外出版物輸入に関する懇請状

米英その他広く海外出版物の輸入が、ポツダム宣言下の新日本建設のために、即ち最善の民主主義、平和主義、文化主義日本建設のために最も切実なる必要の一つであることは多言するまでもありません。食、衣等の角度からの救援も、更に高次の文化目的のためのものであることは特に強調するまでもありません。

図書館、学校、研究所、文化団体及び指導力大なる特殊の個人等を直接の対象として日本最善民主国化、平和主義化のために、米英その他海外図書の、可及的大規模贈与の道を、総司令部に請願して、開きまた拡充して頂くことは、極めて有難き望ましき事であります。これはこれとして、何卒その早急なる実現の方向に御高配たまはるやう懇請致します。同時に研究、学問、文化のためには、各人が自由に図書を購入してわがものとする必要があります。細事を申すやうであります、読みながら評註なり、批判なり、広く注意を書き込む自由の示唆する、大いなる知的生活上の必要の如きものもあります。勿論、購買力の事は別の問題としてであります。

即ち商業的目的のためからでなしに、純粹に日本の最善民主化、文化主義化、平和主義化、そのことのために一つの条件としては、米英その他海外図書の輸入の道を開き、また拡充して頂く必要があると考へます。

殊に米英語で書かれた出版物に関しては、英語は明治維新以来、第一外國語としての名実の発達があり、第二國語たる事実があり、今や、これに絶大加速力さへ加はりたる事情に鑑みても、この際日本人の入手し得る読み物が邦語図書に限られるといふ制限の続くことは、民主主義の観点からしても不可測大の損失であるのみならず、不自然であります。文化的、社会的に幸にしてユネ

スコの偉大なる存在は、必然これらの諸事情に最高の、完全なる理解、認識、察知にもとづく救済の手をのべて下さることと信じます。 —以下略—

昭和廿二年十月廿七日

民主外交協會

海外出版物輸入促進委員會

委員長 杉森孝次郎

外委員一同

(注) 仮名遣いは原文のまま、漢字は当用漢字に訂正した。

しかしこのような苦心のもとに発信された UNESCO 宛の請願書にも返事がなく、実際問題としてどのような効果があり影響があったのかが分らない。残念なことである。

以上、昭和21年から22年にかけての洋書輸入促進運動について述べたが、戦後の占領下において、あちらに頭を下げ、こちらに協力方をお願いし、無駄な骨折りを繰り返してなお挫折しなかった先輩達の努力の跡が偲ばれてならない。

12. Life, Colliers, Far East などの米国雑誌の入荷

12.1 Life について

昭和22年4月9日の理事会において、教文館三品氏に同行した同社の永田氏から、次の申出があった。

「教文館はLifeの今年1月18日号から3月末までのバックナンバー約15,000冊を、ライフ上海支社から引き受けることとなった。また4月8日号からのLife International Edition 各2,000冊を、ライフ東京支社を通じて輸入することになった。この新刊の2,000冊は、GHQに500冊を納入、500冊を教文館が販売し、残り1,000冊を協会会員に公平に分配する。価格は東京12円50銭、地方15円。バックナンバーの方も希望会員に頒布する用意があるとのこと。」

この申し出に対し理事会として検討の結果、4月10日付で「ライフ国際版予約の件」と題する海輸第6号を配布し、予約を受け付けた。ただし、申し込みの数によっては、理事会が査定することとなっている。察するに、飢餓状態の洋書マーケットのために、予約が殺到することが予想されたのであろう。

4月26日付の海輸第8号によれば、各社からの希望部

数が揃い、これを店舗の数、第三回輸入申請実績(8.4項参照)と、特にライフ・タイム社(社名は海輸第8号記載のまま)からの申し出を参照して割当率を算出し、海外出版物輸入協会から教文館に配給実務の代行をお願いした旨が記されている。バックナンバーについても同率で割当てられている。この割当率は、丸善50%、日配20%、その他の会員は5%ないし2%となっている。

そしてライフ・タイム東京支社からは、「販売許可証明書」が各社に渡され、万一この販売について問い合わせなどあった時に、ご提示ご説明下さいとなっている。

次いで5月26日付の海輸第11号では、ライフ・タイム社からとして、「ライフの輸入はタイムの販売上昇を助けるためになされるものであるから、海外出版物輸入協会の各社に対する配給割当数には不満足である(タイム販売数が考慮されていない)。従って今後の入荷については、ライフ・タイム東京支社でタイムの販売数に応ずる一定の配給数を確保するため、相当数を天引きして残りを教文館を通じて引き渡す」との通告があった(引き渡し部数を減らす意味)と伝えている。

これに対し協会としては、ライフは輸入品であるので、タイムとは切り離して考慮して貰いたいと極力了解を求めると共に、タイムの販売数も上昇させて協会員の實力を示すよう、またライフ入荷の際の割当数は再検討するので、現在のタイムの販売数を知らせよう協会員に求めている。

このような経緯があつて、4月14日号と4月28日号が同日入荷したときは、2000部の入荷に対してGHQ用500冊は変わらず、タイムのプレミアムとして日配に500冊渡され、教文館500冊は変わらず、残り500冊が協会用になった。そのため、協会用は当初配給数よりも半減している。そこで6月2日の理事会でこの配給割当数を再検討し、丸善50%は変わらず、他社は4%から1.6%という率で500冊の77%を分配し、残りはタイムの販売実数による率で分配するという方法を取っている。

この辺の経緯、即ち配給割当のことや販売許可証明書のこと、更に部数削減や査定方法変更のことなどは、占領下の状況を象徴しているような出来事であった。

ライフ国際版は、9月15日号から25円に値上げされると共に、地方代価は27円50銭となったが、11月28日付の海輸第27号では、「教文館からの話によると」として、ライフ国際版の需要にかんがみ、ライフ・タイム東京支社では目下毎号10万冊の内地増刷が計画され、具体的に進

行中である。紙その他の資材は全部米国から入れるとある。しかしこの件は、翌昭和23年1月にコストが倍額を要するため難航しているとの報告が出た後、立ち消えとなっている。

その代り、昭和23年の1月16日の理事会で、ライフの輸入数が3,000冊増えて計5,000冊となり、うち日配へは300冊増やして計800冊とし、同業会（このときは協会ではなく同業会と会名変更されている）には、358冊を増やして計1,058冊とする旨が報告されている。なお教文館三品氏からの理事会への報告は、ライフの話が始まって以来、常に入荷の都度丹念に報告され、その几帳面さには驚くばかりである。

1月26日の理事会では、ライフの増冊分を含めた配分を次の通りとした。

丸	善	620冊
国	際	50
福	本	50

三	越	130
紀	伊 國 屋	65
三	省 堂	35
大	竹	11
東	光 堂	11
バ	ー ド	10
南	江 堂	10
金	原	10
山	川	10
エン	デルレ	10
東西・日進・岩崎・東洋・明治		各5
同業会保留分		8

計 1,058冊

(注)この表は昭和23年のものであるので、新規会員が相当数増えている。この件については項を改めて述べる。
(続く)

よこめし・たてめし (2)

遠来の客を食事に招待するに当って、立派な料理屋にお連れするのも結構だが、洒落た小料理屋や居酒屋も喜ばれるものである、と前号で申しあげた。あまり喧噪を極めることなく、落ち着いた雰囲気、商談なり、歓談が出来るような店を、もし貴方が御存知なら、そこは成べく大切にされることを、おすすめする。

さて、そのような店の一隅に席を占め、出された「おしぼり」を一寸使って（その際、貴方は炭坑労働者ではないのだから、おしぼりで顔をゴシゴシこすり、ついでに耳の穴まで掃除する、というようなことは、なさぬ方がよろしい）まず、冷いビールか、温いお酒で乾杯、ということになる。最近、吟醸酒の良いものを、キリッ冷やして飲ませるところもあるが、フルーティな香りをもつそれは、ワインなどに少々やかましい、碧い眼のお客を、ことのほか、よろこばせるかもしれない。

さて、この辺でそろそろ当日（又は当夜）のメニュー組立てにとりかからねばならない。これが、馴れない

うちは、なかなか面倒くさく、苦手とする人もいろいろである。日頃、友人や知人と食事に行って、ひとが何か注文するのを待って「オレも同じもの」などと云う癖をつけていると、自分で選択することが非常に億劫になる。要は、習うより馴れろ、であり、又、「たべもの」についての関心を今までより少し余計にすれば良いのである。

フランス料理式に、オードブル、主菜、そしてデザートなどと気を配らぬがよろしい。彼等にとって、小料理屋の出すものなどは、すべてオードブルなので、だからといって、始めから終りまで、オードブルばかりだった、と文句を云う人にぶつかった覚えはない。なに、海の向うでも、ここ数年、メニュー・デグスタシオンとか云って、小量づつの料理を、何品もならべのが流行っているそうだから、そして、案外これは日本にオリジナリティがあるのではないと思われるから、小皿や、小鉢で終始しようと、少しもかまうことではないのである。
(つづく) (K. S.)

シロギス釣り

5月17日、今回は常連の中央洋書前橋、南江堂若松、日ソ図書斉藤、洋販池田の4氏が都合が悪く不参加は残念でしたが、紀伊國屋丸岡、ニュートリノ山本、小林氏の初参加を得て総勢18名、例によって江の島片瀬湾を8時に出船。幸い好天に恵れ相模湾に船を浮べました。

数日前の大雨で水が濁り、やや喰いが悪く、またヒイラギに邪魔をされながらも、型の良いシロギスが最高17尾、毎回必ず出る坊主（釣れなかった人）の人はなく、全員家へのお土産が出来ました。

今回は船宿の手違いで弁当が船に積込まれておらず、空腹をかかえながら3時まで糸をたれましたが、午後からは喰いしぶり3時半帰港。港では船宿の女将が恐縮してサービスに出した自家製のシラス干といかの塩辛をつまみながら握り飯で空腹を満たしました。

今日の入賞は

1位	洋 販	今井	17尾
2位	丸善OB	富田	17尾
3位	タトル	渡辺	13尾

でした。

(MT 記)



72会・第42回ゴルフコンペ

6月7日(出) 吉良 C. C.

三河湾国定公園、西浦湯泉の銀波荘で、東西合同懇親旅行の楽しい一夜が明け、ゴルフ組一行12名、吉良 C. C. へ向いました。幸い、天気にも恵れ、前日の疲れも吹き飛ばす様な豪快なショットでスタートしました。

三河湾を臨むリゾートコースで、コースコンディションも良く、皆さん楽しめた様です。ただ、高麗グリーンが重くて、パットには苦しみられましたが、宴会の司会や幹事疲れを見せなかったズブといメンバーの優勝で幕を閉じました。帰りの新幹線で観光組と合流し、競馬の懸賞パーティーやらで、皆さんさぞかしおやかましかった事と思います。幹事の不手際、切にご容赦下さいませ。

尚、成績は下記の通りでした。

		Out	In	Gross	Hcp	Net	新 Hcp
1位	鶴	47	39	86	16	70	⑪
2位	石原	58	51	109	32	77	⑳
3位	山川隆司	42	48	90	12	78	⑪
B. B.	村山	51	50	101	14	87	
D. C.	尾崎、尾崎、尾崎、村上						
N. P.	和田、山川、相良、石原						
B. G.	鶴						

次会のコンペは8月2日(出)東西対抗戦が浜松シーサイドゴルフクラブで行われます。(S. T. 記)

洋書輸入協会ゴルフ部72会史発行のお知らせ

1972年に、山川 (US)、池田 (US)、斉藤 (UPS)、新田 (雄松堂)、野田 (北尾)、大野 (丸善)、佐野 (南江堂)、村山 (ゲーテ) の各氏により発足した72会の1回～41回、東西対抗戦1回～15回及び関西支部ゴルフ1回～21回迄の全ての記録を一冊の本にまとめ、この程出版されました。72会と東西対抗戦の延べ参加人数は、1,015名にも達し、全ての記録がこの本に記載されています。ご希望の方へは、実費の一冊1,000円でお分けしますので、
(株)東亜ブック 〒171 豊島区池袋4-1744-5
Tel: 03(985)4701 鶴までご一報下さい。

富士の麓でナイスショット

テニス同好会（フォーティ・ラブ会）の春期合宿が6月14、15の両日、山中湖畔花月園で行われました。初参加の方6名を含めて26名が集まり、日ごろのストレスをボールにぶつけました。心配された空模様も2日間とも上々で、だいふ日焼けした人もいたようです。1面で中井さん（アカデミア洋書）のコーチによる集中レッスンが行われ、他の2面ではゲームを楽しみました。

2日目はクラス別にダブルスゲームを行い腕前を競いましたが、何と言ってもハンス・エンデルレさんの「全勝」が光っていました。今回も幹事の平野さん（三省堂）の“交渉力”と“顔”で大変安上りに終ることができました。感謝。洋書輸入協会にテニスの輪をもっともっと広げたいと思います。次回合宿にもより多くの皆様の参加をお願いいたします。

(HM)



おしらせ

◎次の通り移転通知がありましたのでお知らせします。

株式会社 トーヨー 東京営業所

新住所：〒107東京都港区北青山3-9-19

TEL 03-498-7038(代)

FAX 03-498-6758

◎アジソン・ウェスレイ パブリッシャーズ ジャパン
株式会社に次の通り代表者の交替がありました。

新 キャサリン T. タンジー

旧 塚本正広

◎次の通り移転通知がありました。

株式会社 ニュートリノ

新住所（8月1日より）

〒182東京都調布市布田1-44-3 高橋ビル

TEL 0424-84-5550

TELEX 2822303 NEVTRI J

FAX 0424-84-5556

海外ニュース

「米国雑誌の価格統計」

ライブラリー・ジャーナル誌4月15日号に発表された統計によれば、アメリカで発行されている雑誌の1986年度の価格（年間予約購読価）は、前年より8%を超える値上りを示した。

全雑誌のサンプル3,942誌の平均価格は\$87.38で、1985年度の\$80.78より8.2%上昇した。前年度の上昇率は11.5%であったから、値上り傾向は幾分ゆるやかになったと云えよう。

しかし、価格が高く変動の激しいソビエト翻訳誌を除外した3,731誌の統計では、1986年度の平均価格は\$65.00で、前年の\$59.70から\$5.30、8.9%上昇したことになる。前年の上昇率は8.6%であったから、ほぼ同率であったと云える。

いずれにしても、雑誌の価格の上昇率は、アメリカの一般消費物価の上昇率の2倍以上3倍近くに達している。その原因は、しかし明らかにされていない。

上昇率のいちばん高かったのは、工業美術と動物学の二分野で、いずれも13.3%上昇。次いで、家政、数学、化学・物理、社会学・人類学、農業、医学の順で、これらはいずれも10%以上値上りしている。

逆に上昇率のいちばん低かったのは歴史の1.9%、一般総合誌の2.0%、哲学・宗教の2.3%などである。

概して、理工系の学術雑誌の値上り傾向が甚しく、社会科学系は中位、人文系は低かったと云えよう。

(Library Journal 4月15日号より)

—(株)伊国屋書店提供—

書籍展示会のおしらせ

第9回サンパウロ書籍展示会

1986年8月21日—31日

9th Book Biennial San Paulo

第4回ジンバブエ国際書籍展示会

1986年8月25日—30日、ハラレ

4th Zimbabwe International Book Fair

第5回マレーシア書籍展示会

1986年8月22日—31日

5th Malaysian Book Fair

第1回北京書籍展示会

1986年9月5日—11日

第18回シンガポール書籍展示会

1986年9月6日—14日

18th Singapore Book Fair

第3回ハバナ書籍展示会

1986年9月13日—18日

3rd Havana Book Fair

第31回ベルグラード国際書籍展示会

1986年10月23日—29日

31st International Book Fair in Belgrade

第1回国際サウディ書籍展示会

1987年1月11日—16日、リヤド

1st International SaudiBookfair

第19回カイロ国際書籍展示会

1987年1月末

19th Cairo Internatinal Book Fair, International Fair Grounds, Nasr City

英国書籍商協会大会・展示会

1987年4月29日—5月3日、イーストボーン

Booksellers Association Conference and Trade Exhibition, Eastbourne, England

来日外人名簿

5月中旬 Mr. M. Clarke, Managing Director,
Clarke Associates, Bristol

" Mr. R. Cullen, Marketing Manager,
Wadsworth International, Belmont

" Mr. J. R. Harmon, General Manager-
International Division,
John Wiley & Sons, New York

" Mr. A. Hamilton, Chairman & President,
Edward Arnold Ltd., London

" Mr. Jullian Amey, Sales Manager,
Longman Group Ltd., Harlow

5月下旬 Mr. H. Jennison, Executive Director,
American Academy of Pediatrics, Elk
Grove Vil.

" Mr. M. Holland, Marketing Director,
The Harvester Press, Brighton

" Mr. R. Charkin, Managing Director,
Mr. S. Wratten, Sales Director,
Oxford University Press, Oxford

" Mr. Trimer-Smith, Vice President,
Oxford University Press, New York

" Mr. J. Denoix, Direct. Export Livre,
Hachette, Paris

" Mr. White, Managing Director, ASME,
New York

" Mr. A. Elias, Director,
Ms. D. Gordon, Head, User Service,
Ms. A. Cunningham, Head, Product
Planning,
BIOSIS, Philadelphia

6月上旬 Mr. D. Croom, Managing Director,
Croom Helm Ltd., London

" Mr. L. Block, Vice President,
University Microfilm International, Ann
Arbor

The Surgeon's Bookshelf

ハミルトン ベイリー 救急外科学 第11版

"Unrivalled in its thoroughness, accuracy and detail in describing the diagnosis and treatment of a multitude of surgical emergencies"

Annals of Surgery

Hamilton Bailey's Emergency Surgery

11th Edition

Edited by **Hugh A F Dudley ChM FRCS(Ed)**
FRACS FRCS(Eng), Professor of Surgery and
Director of Surgical Unit, St Mary's Hospital, London

Emergency Surgery is written for surgeons world-wide who have to treat emergency cases, often without specialist advice and facilities. A team of recognized experts gives sound, clear and fully illustrated guidance on all aspects of emergency treatment. Practical advice dominates and excessive detail is avoided.

Ease of reference and clear presentation are the keynotes on every page of this outstanding work.

Emergency Surgery is profusely illustrated throughout with many diagrams and photographs in both colour and black and white. A large comprehensive index completes the eleventh edition of this essential work.

Contents

General Emergency Measures and Principles: General bodily responses in injury and acute illness. Shock. Bleeding disorders. Intravenous therapy and blood transfusion. Nutrition. Principles of primary care of the injured. Wounds and missile injuries. Burns. Acute cardiac and related emergencies. Respiratory failure in the surgical patient. Respiratory emergencies. Acute infections. Pre and postoperative management and complications of emergency cases.
Head and Neck: Head injuries. The spine. Intracranial suppuration. The face, jaws, mouth and teeth. The eye and orbit. The ear and air passages. The neck.

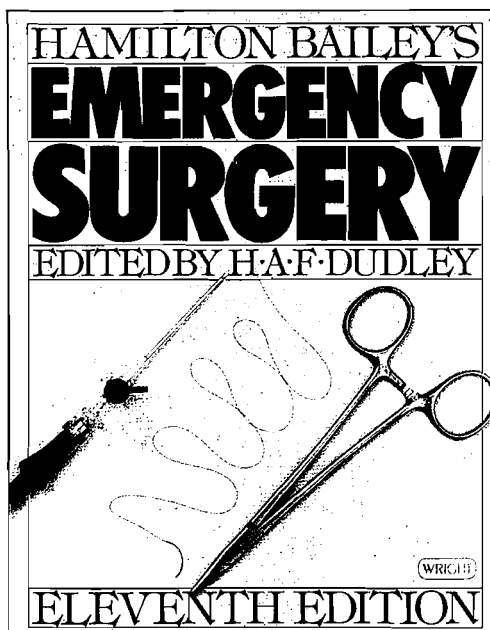
The Chest: Thoracic injuries. The heart and great vessels. The oesophagus.

The Abdomen: Laparotomy and abdominal wound management: Abdominal drainage. Resection and anastomosis of bowel. Intraperitoneal sepsis: Peritonitis and abdominal abscesses. The abdominal wall. The stomach. Perforated peptic ulcer. Acute bleeding from the upper gastrointestinal tract. The biliary tract. Acute pancreatitis. Miscellaneous urgent conditions of the small bowel and other structures. Acute appendicitis. Emergencies caused by acute inflammatory and ischaemic bowel disease. Acute intestinal obstruction: General principles. Small bowel obstruction. Large bowel obstruction. Strangulated external hernia. Ano-rectal abscesses and wounds. Abdominal trauma. Neonatal surgical emergencies.

Obstetric and Gynaecological Aspects of Emergency Surgery: The female genital organs. Emergencies in obstetric practice.

Genito-urinary Emergencies: Renal colic and acute renal infections. Injuries to the kidney and ureter. Emergency operations on the kidney and ureter. The bladder. Retention of urine. The prostate and seminal vesicles. The urethra. The penis, testis and scrotum.

NEW EDITION!



Emergency Vascular Surgery: Urgent surgical management of venous problems, including thrombo-embolism. The exposure of blood vessels of the extremities and urgent arterial surgery. Acute ischaemia of a limb: Gangrene. Urgent amputations.

The Extremities: Emergency treatment of closed and compound fractures of the extremities. Nerves and tendons. Ligaments and joints. Injuries of the hand. Infections of the hand and foot.

Elements of Tropical Surgery: Acute surgical problems in non-temperate zones.

Reviews of Previous Editions

"Full of sound advice and descriptive detail..."

British Journal of Surgery

"... worth the attention of all practising surgeons."

Journal of the Irish College of Physicians & Surgeons

"Indispensable to both the surgical trainee and to the established surgeon..."

"... this book cannot fail to find its place on the book shelf of every operating theatre."

Journal of the Royal Naval Medical Service

March 1986 272 x 210 mm 740 pages
fully illustrated in colour and black and white hardback
ISBN 0 7236 0799 0

¥24,000

WRIGHT

John Wright & Sons Ltd., Bristol

日本総代理店 医学書院洋書部

昭和61年7月 通巻第231号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル612号室 ☎271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第1山中ビル ☎371-5329